

山の学習支援事業プログラムの実施例

対象プログラム

No.16 紙を漉く

学校名	香美市立楠目小学校
学年	5年生
児童数	39名
実施場所	いの町紙の博物館
目標	「私たちのたから～香美市の山・物部川～」を学習テーマに、香美市の山や川の自然に親しみ、山、川、海の関係や地域の環境について考えること、また、香美市の山や物部川が自分たちの宝であることを認識して、郷土愛を育むことを目標としている。
実施教科	社会科
関連教科	生活科、社会科
持ち物	特になし

実施項目	和紙の展示資料の見学、紙すき体験
対象プログラム	No.16 紙を漉く
所要時間	90分程度
実施内容	<p>紙の博物館に到着後、館スタッフとあいさつし、紙すき体験と展示室見学の2クラスに分かれて行動した。</p> <p>・<u>和紙の展示資料の見学</u></p> <p>見学時間は15分程度。土佐和紙の歴史、原料、道具などについて、館スタッフの説明を受けながら資料展示室、原料用具展示室を見学した。</p> <p>・<u>紙すき体験</u></p> <p>体験時間は20分程度。スタッフの解説と補助により4人ずつで紙すきを体験した。こうぞうとパルプを混ぜ合わせた原料を使った。色紙2枚の大きさの型枠にすくい、ゆすって均等にし、水を切り、型枠から原料をはがすまでの作業を行った。1人の体験時間は3~4分程度。すいた紙の乾燥は館スタッフが行い、後日、完成品を学校に届けることであった。30分程度、資料展示室を自由見学して終了した。</p>
実施風景	 



補足

その他、プログラムの特徴

・楠目小学校では、この事業を学年ごとに年間で 1 つのプログラムを実施しており、1 学年から 6 学年にわたって山の学習プログラムを段階的に組み立てている。1~2 学年では動機づけを目的とした自然に親しむ体験、3~4 学年では山の暮らしや森の恵みの体験、5~6 学年では資料館にて香美市や山の歴史について知識を深める学習プログラムを実施している。

・5 年生の実施計画では「香美市の歴史と山の良さを知ろう」をテーマに、民俗資料館にて塩の道など香美市の暮らしや山の歴史について学習する予定であったが、いの町の紙の博物館にて和紙の歴史や製造過程を学ぶ、紙漉きの体験学習プログラムに計画を変更した。和紙などの紙の製造過程、歴史について学習の機会が無く、また、学内にて育てたケナフを原料として卒業証書を作る予定をしており、紙の作り方を実体験して 6 学年の学習プログラムに関連付けていた。今回の紙すき体験学習については感想文を作成することであった。

・学年によって総合的な学習の時間や社会科など実施する科目が異なり、5 学年では社会科に関連付け、総合的な学習の時間は別に行っているとのことであった。